



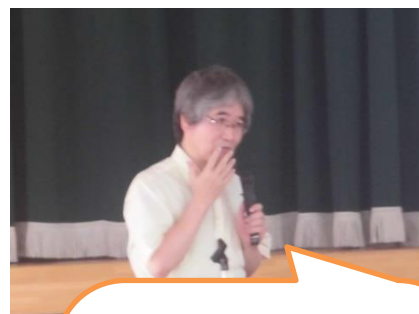
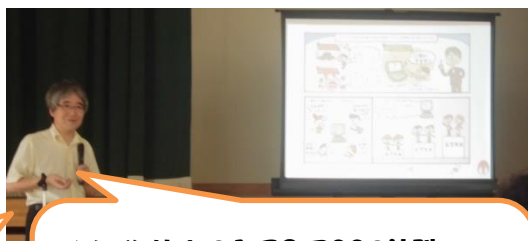
## ☆8月6日 風の子安全・防災学習

8月6日には、久しぶりに子供たちの声が学校に響きました。朝宿題の提出や図書の本の借り換えを済ませ、子供たちは体育館へ。「風の子安全・防災学習」の開始です。

今回の学習は、元大阪教育大学付属池田小学校校長で現在は大阪教育大学教授であられる藤田大輔先生の講話と、6月の子ども安全・防災会議で学んだことをもとに実際に自分たちの地域に出て学習するフィールドワークです。暑い（熱い？）空気に包まれた体育館で、夏の厳しい日差しの中で子供たちは本当によく頑張りました。

### 藤田先生の講話「新居地区の安全を守るために！」

藤田先生は、学校の内外での事故や事件の傾向・原因等について、地域で事故や事件の起こりやすい危険な環境について、そしてそれらの危険から自分を守るためにどんなことに気をつけたらいいのかということについてなど、分かりやすくお話をしてくださいました。そのお話はすぐにでも私たちが子供たちとともに実行していきたいこと、行動や考え方のアイデアやアドバイスがたくさんあったと思います。



- ★ハインリッヒの1:29:300の法則
- ★事故や災害のドミノ理論
- ★生活安全のリスク要素は  
行動、心身の状態、服装、環境

★子供たちの事故が多いのは  
( )のときです。多い学年は  
( )年生です。

★上級生は自分たちのことだけでなく下級生の安全についても気をつけてあげてほしいです。

( )に入る答えは？

★「安全マップ」が「危険マップ」にならないように。そのためには「なぜ危険なのか」「どうすれば安全になるのか」を考え、「自分でできること」「周りのみんなができること」「地域や大人にお願いすることを」をみんなで協働して行っていくことが大事です。

- ★ひもやリボンが首にかかっている？
- ★ヘルメットやランドセルは正しくかけている？
- ★靴はかかとをふまずちゃんとはいている？
- ★どこでだれと遊ぶか何時に帰るか話している？
- ★防犯ブザーはどこにつけるの？
- ★危険な場所はどんなところ？

- ★怖い人はどんな顔をしている？
- ★エンジンをかけて止まっている車、どんなことが考えられる？
- ★エレベーターではどこに乗るのが安全？
- ★大人がいない家に帰るとき、「ただいま」って大きな声で言う？
- ★地域のアンパンマンの家を知っている？

みんなおぼえているかな？

そして自分の命を守るためには「**危険に対して“ピン”とくる直感**」「**危険を察知する力**」等危険や安全に対する知識も必要ですが、子供たちが「**自分は家族から、周りから大切にされている、心配されている、愛されている**」という実感をもつことも大切であるということでした。

藤田先生は地域のフィールドワークにも参加してくださいました。フィールドワークをもとに今後の学習を計画していきます。